



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2024/12/06

研究課題名	治療抵抗性に関わるがんの生物学的不均一性を解明する空間オミクス解析-SO Study
研究の対象	許可日～2029年12月31日までの間に当院で悪性腫瘍の診断や治療を受けた20歳以上の方 研究登録予定人数:10名
研究目的・方法	<p>目的</p> <p>近年の遺伝子解析技術の進歩により、ホルマリン固定パラフィン包埋組織検体から網羅的な遺伝子発現プロファイルを空間情報と紐付けて解析できることが可能となった。この新技術である『空間トランスクリプトーム解析』を用いて治療抵抗性に関わるがん細胞の生物学的不均一性を明らかにすることを目的とします。</p> <p>方法</p> <p>組織生検検査や手術で摘出した組織検体の残余分からスライド切片を作成し空間トランスクリプトーム解析を行う。解析データから治療抵抗性に寄与すると考えられるがん細胞集団に着目して代表的なマーカー遺伝子を同定致します。</p> <p>研究結果の発表</p> <p>研究成果は学会および英文論文にて公表する予定です。また論文投稿の際に医学雑誌が指定するデータベースに公表する可能性もあります。いずれの場合においても、個人情報が含まれないデータのみを使用いたします。</p> <p>研究期間:許可日～2030年3月31日</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報:病歴、家族歴、血液検査結果、画像検査結果、遺伝子検査結果、抗がん剤治療・放射線治療の治療歴・治療効果・副作用等の発生状況 等</p> <p>試料:組織生検検査や外科手術等で摘出した組織検体(診療残余検体を用います)</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:</p> <p>〒530-8480 大阪市北区扇町2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話:06-6312-1221、FAX:06-6312-8867 研究責任者:腫瘍内科 副部長 竹下 純平</p>